

II 相談状況

令和元年度の相談受付件数は7,440件(前年度6,127件)で前年度比121.4%である。

相談種別で最も多いのは障害相談3,539件で、そのうち知的障害相談が3,426件(全体の46.0%)である。

次いで養護相談が2,912件、うち児童虐待相談が2,212件(全体の29.7%)となっている。

経路別受付の状況は市町村(福祉事務所も含む)、家族・親戚からのものが大多数である。

(図2参照)

また、処理別状況は面接指導の中でも助言指導が5,104件(総処理件数の67.3%)と圧倒的に多く、児童施設入所・通所は111件(総処理件数の1.5%)となっている。(図3参照)

図1 相談別受付件数

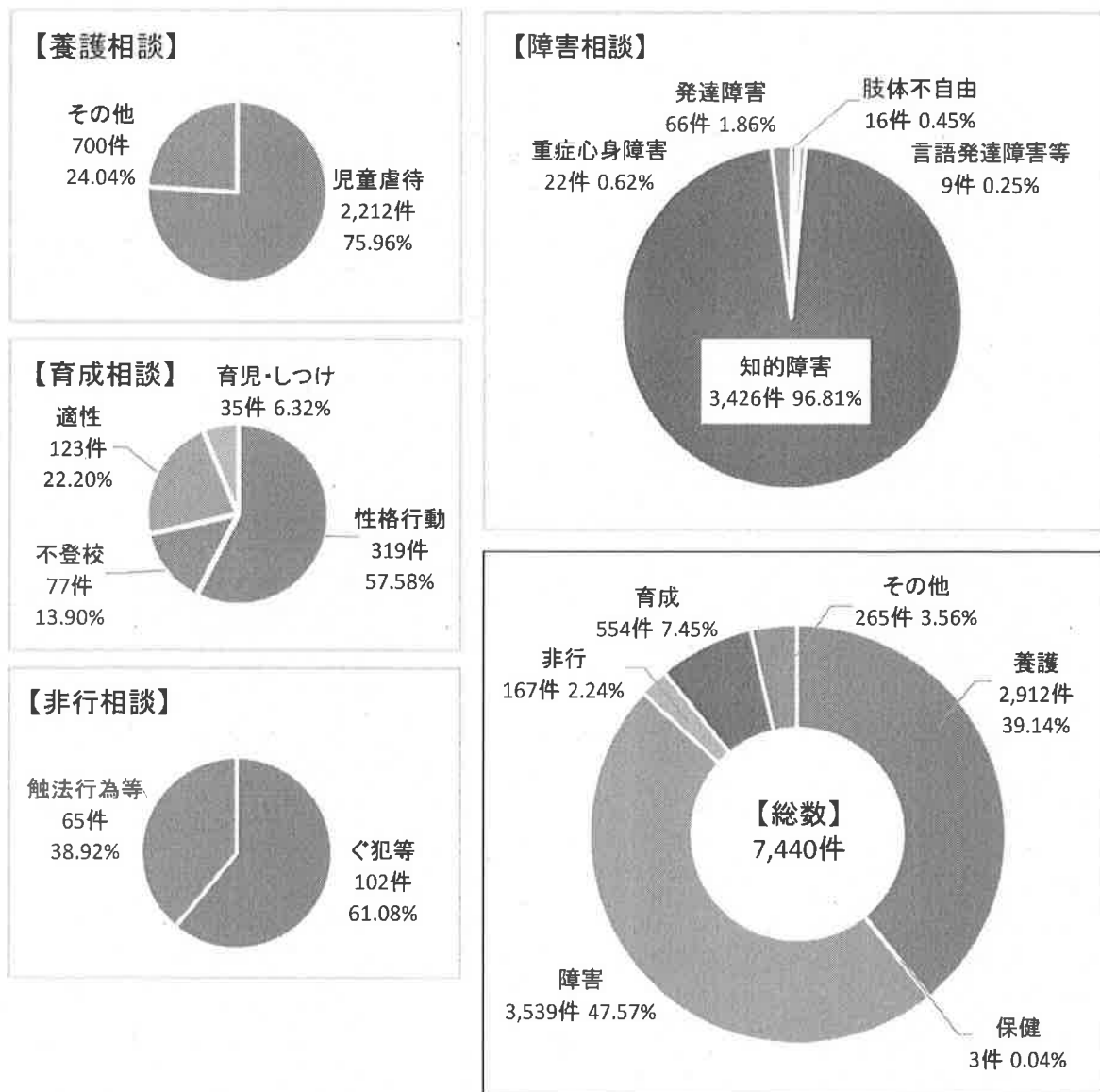


表1 相談種類別受付状況

	中央		西濃		中濃		東濃		飛騨		計		
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	
養護	児童虐待	980	32.9	364	27.8	473	34.9	285	22.1	110	21.5	2,212	29.7
	その他	316	10.6	142	10.8	106	7.8	84	6.5	52	10.2	700	9.4
	保健相談	1	0.0	1	0.1	1	0.1	0	0.0	0	0.0	3	0.0
障害	肢体不自由	9	0.3	2	0.2	2	0.1	3	0.2	0	0.0	16	0.2
	視聴覚障害	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	言語発達障害等	0	0.0	1	0.1	1	0.1	5	0.4	2	0.4	9	0.1
	重症心身障害	17	0.6	1	0.1	2	0.1	1	0.1	1	0.2	22	0.3
	知的障害	1,235	41.5	616	47.0	562	41.5	723	56.0	290	56.8	3,426	46.0
	発達障害	13	0.4	5	0.4	14	1.0	34	2.6	0	0.0	66	0.9
非行	く犯等	62	2.1	8	0.6	12	0.9	20	1.6	0	0.0	102	1.4
	触法行為等	39	1.3	9	0.7	9	0.7	6	0.5	2	0.4	65	0.9
育成	性格行動	83	2.8	78	6.0	61	4.5	63	4.9	34	6.7	319	4.3
	不登校	15	0.5	15	1.1	27	2.0	17	1.3	3	0.6	77	1.0
	適性	39	1.3	33	2.5	40	3.0	8	0.6	3	0.6	123	1.7
	育児・しつけ	9	0.3	13	1.0	3	0.2	8	0.6	2	0.4	35	0.5
	その他	157	5.3	22	1.7	41	3.0	33	2.6	12	2.3	265	3.6
	計	2,975	100.0	1,310	100.0	1,354	100.0	1,290	100.0	511	100.0	7,440	100.0
	前年度計	2,280		1,025		1,120		1,216		486		6,127	
	前年度比(%)	130.5		127.8		120.9		106.1		105.1		121.4	

図2 経路別受付件数

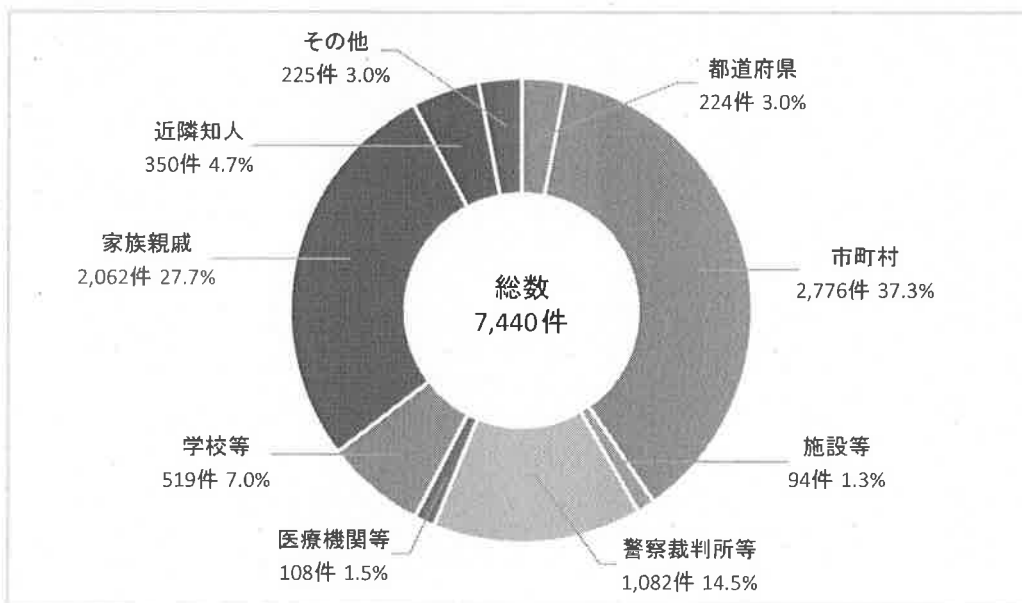
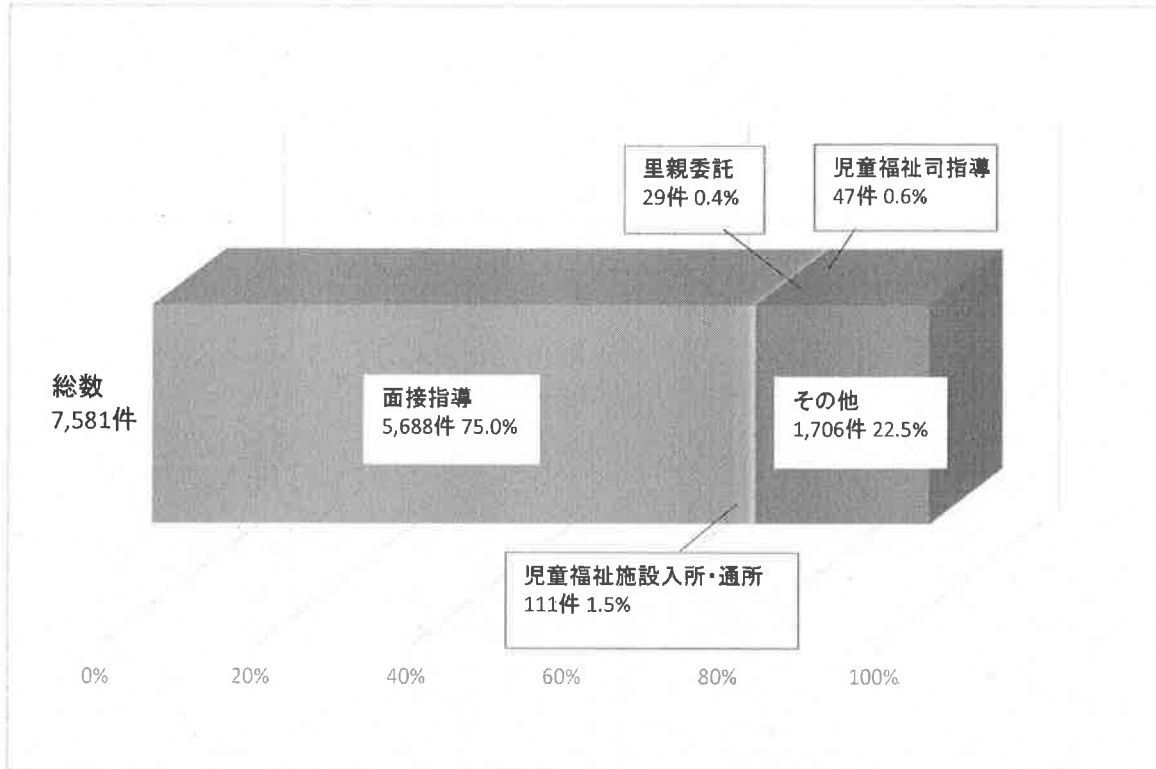


図3 処理別件数



【面接指導5,688件の内訳】

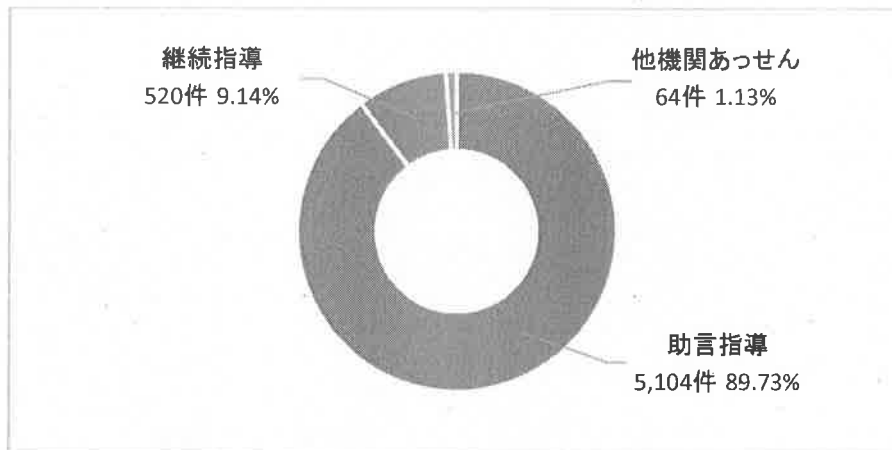


表2 【その他1,706件の内訳】

児童委員指導	0
児童家庭支援センター委託	8
市町村送致	57
福祉事務所送致	47
訓戒・誓約	49
指定医療機関委託	0
家庭裁判所送致	4
障害児施設への利用契約	36
その他	1,505

図4 年度別・相談種類別受付件数の推移

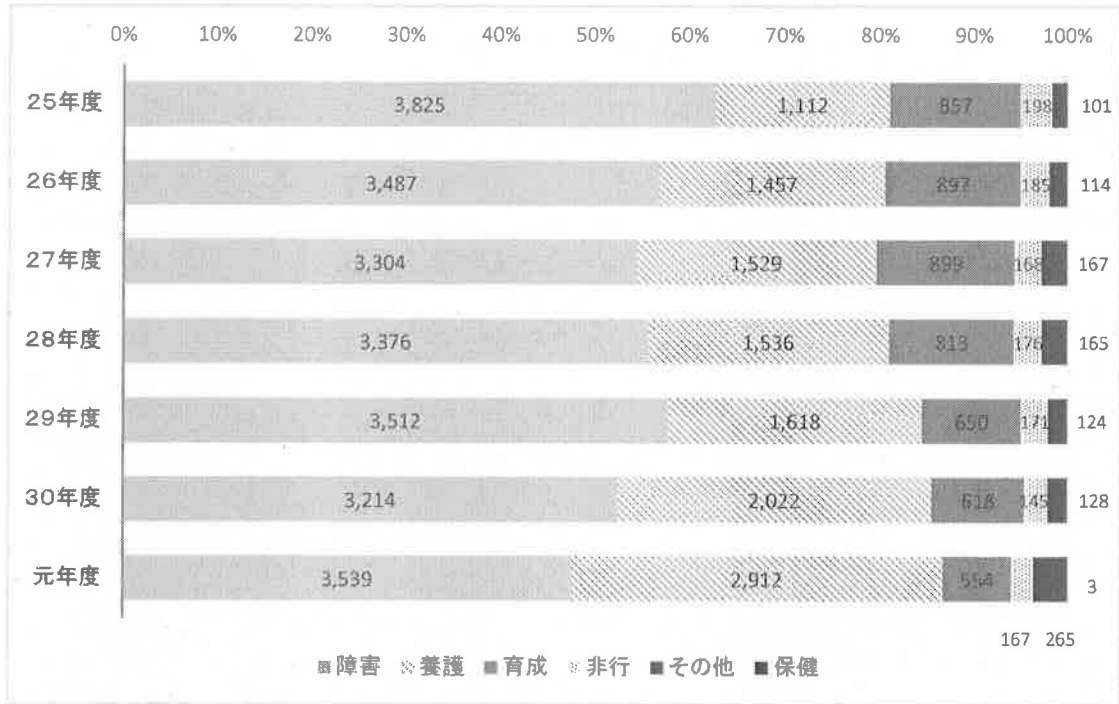
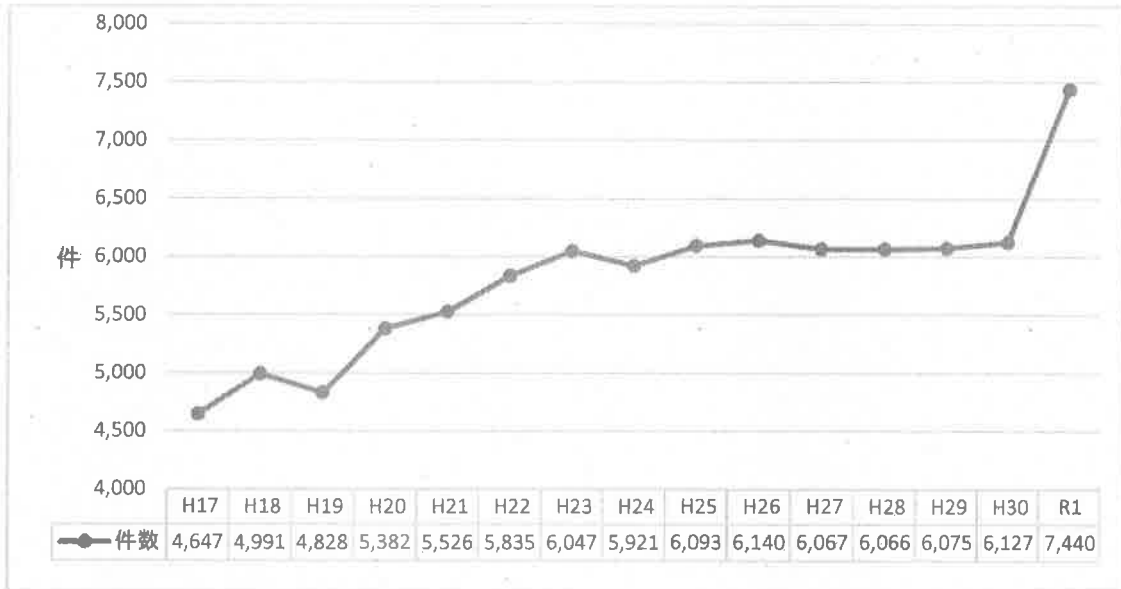


図5 受付件数の推移



養護相談の理由別対応状況(虐待)

令和元年度の養護相談の理由別処理件数は、巻末の業務統計に記載。
その養護相談(理由別)のうち、虐待相談の経路・虐待者・被虐待者の年齢・相談種別処理については次のとおりである。

表3 虐待相談の経路

種別 センター別	対応件数												
	都道府県	市町村	児童福祉施設等	警察等	保健所・医療機関	学校等	家族		親戚	近隣・知人	児童本人	その他	計
							虐待者本人	虐待者以外					
中央	42	122	22	413	29	153	38	41	11	123	10	18	1,022
西濃	17	44	0	138	4	95	12	14	9	43	3	8	387
中濃	26	96	14	154	15	62	9	15	14	40	13	17	475
東濃	12	38	3	105	5	38	15	24	11	31	1	3	286
飛騨	3	23	7	16	7	34	5	4	0	9	1	1	110
計	100	323	46	826	60	382	79	98	45	246	28	47	2,280

表4 虐待相談の主な虐待者

種別 センター別	対応件数					計
	実父	実父以外の父親	実母	実母以外の母親	その他	
中央	392	47	515	4	64	1,022
西濃	162	37	165	6	17	387
中濃	159	23	224	3	66	475
東濃	106	22	139	5	14	286
飛騨	49	6	48	0	7	110
計	868	135	1,091	18	168	2,280

図6 被虐待児の年齢・相談種別

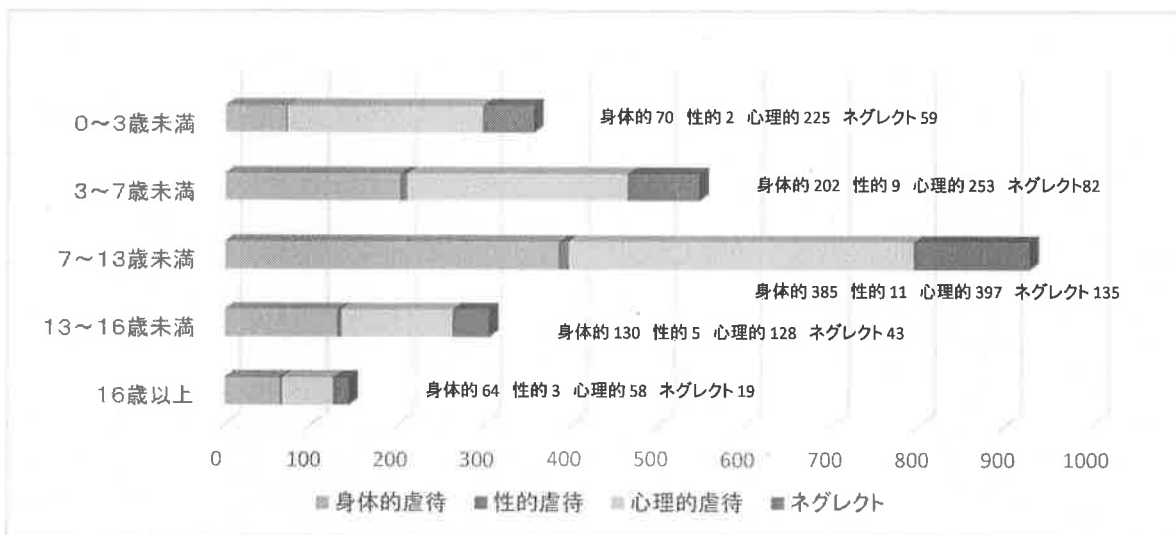


表5 虐待相談の対応

施設入所	施設入所					里親委託	面接指導 (助言指導、継続指導等)	児童福祉司指導	その他	合計
	児童養護施設	乳児院	児童自立支援施設	児童心理治療施設	その他					
62	48	7	2	4	1	3	2,133	27	55	2,280

表6 虐待相談の対応件数の推移

年度		H26	H27	H28	H29	H30	R1
全 国		88,931	103,260	122,578	133,778	159,850	(速報値) 193,780
岐 阜 県		996	1,018	1,004	1,095	1,405	2,280
内 訳	中 央	364	447	396	397	605	1,022
	西 濃	197	152	188	189	218	387
	中 濃	193	165	187	231	274	475
	東 濃	159	167	149	193	202	286
	飛 騨	83	87	84	85	106	110

図7 虐待相談の対応件数の推移(岐阜県)

